

第104回: 中国の箔付け機関

ジョークを切り口に現代中国の諸相を紹介した「中国ビジネス笑劇場(光文社)」という本を出版したとき、編集長から「欧米と違ってジョークや小話の類は売れないよ」と釘をさされた。爾来幾星霜、編集長の予言通り再版本が出たとは聞いていない。電子書籍は発行されたが印税は無いに等しい。そんなジョーク本が最近日本でぽつりぽつりと売れ始めたようだ。先日書店である本を立ち読みしていたら、拙著から取ったとおぼしきジョークが何個か載っており、思わず「盗みやがって！」と舌打ちした。しかし筆者の「笑劇場」にもスターリン・ジョークを毛沢東小話に換骨奪胎したような例が多数あるので人様を批判する資格はない。

仕事から中国株講演会や経済セミナーで喋る機会が多く、会場の雰囲気や和ませるためのスイートナーとして笑いを誘うニュースや小話を用意するように努めているが、受けた例がない。ヒマつぶしで来る聴衆中にはいるだろうが、財産運用の手掛かりや家計のリストラを真剣に考えておられるお客様が圧倒的に多く、不謹慎な冗談は言えない。講師の知的レベルに問題があるのかもしれない。弊社には相場や中国株を語れば能弁多弁の士が山ほどいるが、洒落や諧謔に長けた人物は少ない。(ひと事のような表現だが)講演で下手なジョークを披露しては、空振りを繰り返す講師も多い。悪いのは滑舌か頭脳か、はたまた間の取り方か、反省はしているのだが、改善の兆しはない。加えてジョークにはT・P・Oも大事である。

最近の講演会では「今年是世界中が選挙の年です」と切り出すことにしている。それに続き台湾は馬英九と蔡英文の「双英対決」、フランスは「極右ルペン女史の動き」、韓国は「北朝鮮問題」、ロシアは・・・と続けて本題の中国の政権交代「青組の習近平か、赤組の李克強か」に誘導する筋書きである。

その前にお笑いを一席と考え、中央スクリーンに映し出すのが過去のソ連ロシアの指導者の肖像である。レーニンから時系列に並べ、表題はネタバレにならぬよう、わざと英語で「Russian Politics: The Bald Truth」とする。レーニン・スターリン・フルシチョフ・ブレジネフ(中略)プーチン・メドベージェフと並べ「私のチャート分析ではフサフサのメドベージェフの後任は、ハゲのプーチンで決まり！」と見栄を切り、どっと笑いを誘うシナリオだが、ときに運悪く最前列に平清盛入道か今東光大僧正のようなスキンヘッド系の方が難しい顔をして鎮座されていることがある。こんなとき素人の悲しさで、つい腰が引けて仕舞う。仕方がないので歴代のリーダーの写真を示しながら、「このようにソ連・ロシアでは政権に返り咲いた指導者は一人もいないが、今回初めてプーチンの復活が実現しそうだ」と論理をすり替え、お茶を濁してしまう。英語が理解できる人は「Russian Politics: The Bald Truth」が「ロシア政治……ハゲの真実！」であることくらい理解しており、しかもご丁寧に各指導者の写真の横に、こいつ「Bald(ハゲ)」、こいつは「Hairy(フサ)」と字幕まで貼り付けているので、怪訝な顔をして聞いておられる方もいるようだ。

講演会で受けるジョークは中国がニセモノ天国であることを皮肉り、「中国では全てがニセモノ、ホンモノは詐欺師とペテン師だけ」というまんざら嘘でもない一言である。ペテン師登場で漸く本題に入ることになるが、その中国で指導者とは八千万人の共産党員の頂点に立つ約二百名の党中央委員である。その中から

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

更に25名の政治局委員、そして更に9名の政治局常務委員が選ばれ、その筆頭を総書記と呼ぶ。

中国パワーエリートの分析作業で大変興味深いのが彼らの学歴である。203名の中央委員の内、172名が学士以上、うち73名が修士、16名が博士である。今秋の党大会で総書記に就任する予定の習近平は清華大学法学博士、習近平に次ぐ序列第二位が予想される李克強は北京大学経済学博士である。日本の代議士や高級官僚を遥かに上回る高学歴のように見えるが、この外観に騙されてはいけない。

胡錦濤を中核とする現指導部には清華大学や北京大学等の一流大学出身者が多数いるが、そのなかで学者級の論文を残しているのは北京地質学院卒の温家宝首相だけである。胡錦濤・温家宝たちが今年の党大会で引退し、後を継ぐ第五世代のリーダーたちは第四世代以上に高学歴者が多く、なかでも太子党の習近平(副主席)、薄熙来(重慶市書記)、共青团派の汪洋(広東省書記)たちの学歴は示唆に富んでいる。習近平や薄熙来の父親は文化大革命で反動派の親玉として糾弾され非道い目に遭い、政府はその補償として子弟の大学入学に便宜を図ってくれたのである。習近平は高校を卒業せず清華大学に入学、気がつけば博士になっていた。汪洋は安徽省の労働者出身、24歳のとき「中央党校」という共産党経営の塾のようところで学んだ。彼は中卒だが修士(但し党校)でもある。もっとも上に政策あれば下に対策ありという通り、中国の要人子弟にはむかしから縁故入学という裏道があり、習近平の清華大学、王岐山の西北大学のように正規の大学を卒業していれば仮令入り口に疑問があっても出口が学士であれば、それで良いともいえる。問題は中央党学校や他の党教育機関の卒業証書である。党校の教育には短期研修や通信教育も含まれており、密度とレベルが問題である。筆者の友人のなかに、連日二人で紅灯の巷に出入りしていた時期に全寮制の党校に入学し修士の学位を得た大幹部がいる。學鐙の進士と、紅灯の酔客のどっちがホンモノだったのか今でもよく分からない。ストックホルム国際平和研究所によると党中央委員の20%近くが学位の乱発で名高い党校出身、修士の資格をもつ中央委員の三割以上が党校の修士だそう。

汪洋は党校を卒業しなくても十分に実力を発揮できた逸材であるが、学歴にこだわる共産党組織の見栄で無理やりに高学歴を付与されてしまったのである。中央党校の通信研修で得た学位にどれだけの学術的な裏付けがあるのか疑問だが、それでも博士や修士資格を獲得するのは大変な作業のようである。従ってエリート政治家の秘書は身代わりになって必死に勉強すると云う笑えないジョークもあるようだ。

広く世界に目を向けると、米国リーマンショックや、欧州の金融危機の陰でマッチポンプの役割を果たしているのが悪名高い格付け機関であるが、同じように中国にも「ハク付け機関」が存在するのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年2月2日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。